

京都大学教育研究振興財団助成事業
成 果 報 告 書

2025年8月18日

公益財団法人京都大学教育研究振興財団

会 長 藤 洋 作 様

所 属 部 局 工学研究科

職 名 教授

氏 名 中尾 佳亮

助 成 の 種 類	令和 7 年 度 ・ 国際会議開催助成		
国 際 会 議 名	第二回有機合成化学を起点とするものづくり戦略アジア会議		
開 催 期 間	2025年7月30日 ～ 2025年8月1日		
開 催 場 所	沖縄コンベンションセンター		
参 加 者	総 数 91	内 訳 日本(教員41名, 学生39名, 企業1名), 中国(4名), 香港(2名), 台湾(2名)、韓国(2名)	
成 果 の 概 要	タイトルは「成果の概要／報告者名」として、A4版1枚程度・和文で作成し、添付して下さい。「成果の概要」以外に添付する資料 ☒ 無 ☐ 有()		
会 計 報 告	事業に要した経費総額	4,103,637 円	
	うち当財団からの助成額	1,000,000 円	
	その他の資金の出所	理化学研究所、日本化学会	
	経 費 の 内 訳 と 助 成 金 の 使 途 に つ い て		
	費 目	金 額 (円)	財団助成充当額 (円)
	旅費・交通費・招待講演者宿泊費	986,610	720,000
	会場・会議費	958,760	280,000
	消耗品費	36,797	
	その他(手数料、HP費用等)	453,747	
	バンケット・エクスカーション・食費	1,667,723	
	合 計	4,103,637	1,000,000
当財団の助成について	(今回の助成に対する感想、今後の助成に望むこと等お書き下さい。助成事業の参考にさせていただきます。) 会議開催のかなり前に申請が必要な他の財団の助成と比べて、本助成は会議開催の直前に申請できたため、より具体的な予算状況を踏まえて申請でき、大変ありがたいものでした。		

成果の概要 / 中尾佳亮

7月30日（水）から8月1日（金）までの3日間、沖縄コンベンションセンターにて、「第二回 有機合成化学を起点とするものづくり戦略アジア会議（ACMS2025）」が開催された。組織委員長は、日本化学会の新領域研究グループ「有機合成化学を起点とするものづくり戦略」の代表を務める東京科学大学の田中克典教授であった。

本会議は、国内外の研究者、とりわけ近年、欧米に匹敵する独創的な研究成果を上げて国際的な存在感を高めているアジアの有機化学者が一堂に会し、研究成果を共有・議論することを目的として開催された。有機合成化学の枠を超え、生物化学、医薬化学、天然物化学、精密化学、材料化学といった広範な分野における最先端の知見を把握することも目指されていた。

こうした有機化学の多様性を反映する形で、11件の招待講演、20件の一般口頭発表、大学院生を中心とする46件のポスター発表、さらに前述の新領域研究グループのメンバーによる10件の研究発表が行われ、3日間を通じて活発な議論が会場の各所で繰り広げられた。

講演・ポスターのいずれの発表も、アジアにおける有機化学分野の著しい進歩を感じさせる、非常に高いレベルの内容であった。有機合成の効率をさらに高める新たな反応や触媒の開発、複雑な構造をもつ天然物の合成、次世代の光電子材料につながる有機合成化学、生体内での有機合成など、最先端かつ多様な成果が示され、参加者、特に次世代を担う若手教員や大学院生にとっては、大きな刺激となる貴重な機会となった。